

H30 あらきっ子の学力～全国学力・学習状況調査より

「全国学力・学習状況調査」は、国が義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証する目的で実施されています。この結果を受けて、あらきっ子の学力について傾向を分析しました。

【国語】

「目的に応じて必要な情報を捉える」こと、「登場人物の心情について、情景描写を基に捉える」こと、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」ことなど、「読むこと」の力はよく身につけています。

しかし、「計画的に話し合うために、司会の役割について考える」こと、「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考える」ことなど、「話すこと・聞くこと」の項目ではやや課題があります。

また、「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書く」ことなど、記述式で「書くこと」の項目が低い傾向にあります。

【算数】

「除法で表すことができる二つの数量の関係」や、「 180° の角の大きさ」などについては、比較的理解度が高い傾向にあります。

しかし、「数直線上に表すこと」、「円周率の意味」、「空間の中の位置表現」、「グラフの読み取り」の項目に課題があります。

※国語・算数ともに、知識と活用を比べると、知識の方が高く、活用が低い傾向にあります。

【児童質問紙】

全国と比較して割合の高かった主な傾向について紹介します。

- 将来の夢や目標を持っている。
- 学校のきまりを守っている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をしている。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
- 放課後に、「放課後子ども教室や放課後児童クラブ（学童保育）に参加している」、「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」、「友達と遊んでいる」と答えている。
- 週末に、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりして過ごしている。
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

この結果を受けて、次のことを重点に取り組んでいきます。

<学び合う学習集団を育てる>

国語科を中心に、学習の中で隣同士やグループ間、学級全体での話し合いの活動を多く取り入れ、お互いを認め合いながら、意見を伝え合う場を意図的に設けていきます。学校生活の一部（行事等）をふり返りとして短作文にする機会を設けたり、子ども達の実態に合わせてしながら、引き続き校内研修を積み重ねていきます。

<発展的・応用的な授業への改善>

ノート指導に重点を置き、学習中の思考の流れがわかるように記録し、より理解が深まるようにしていきます。1時間の中に基礎的な内容と応用的な内容を取り入れた学習計画を立てて実践していきます。

<あらきっ子タイムの活用>

漢字・計算・語彙力・表現力等のスキルを大切にしながら、さらに学力向上を図っていきます。

家庭での学習習慣・読書習慣や、「早寝・早起き・朝ごはん」といったリズムのある規則正しい生活が、今後の新木小の子ども達の学力向上につながっていきます。ご家庭でのご理解、ご協力をお願いいたします。